

式 辞 （定時制）

美しい山々に囲まれ、幾つもの清流が流れる、ここ人吉球磨盆地にも少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。校内の桜のつぼみは膨らみはじめ、穏やかな春風は、新たな一步を踏み出す若者の背中を押すようにやさしく吹く今日の佳き日に、熊本県立人吉高等学校定時制課程 第72回卒業証書授与式を挙行できますことは、このうえない喜びであり、光栄の至りであります。

しかし、残念ながら、卒業生の皆さん、保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓の皆様の参加が叶わなかったこと、式の内容を可能な限り短縮せざるを得なかったこと等について、どうぞ御理解を頂きたいと存じます。

ただいま卒業証書を手にした2名の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、これまで励ましながら支えてこられ、本日の凛々しい姿を前にして、お喜びも一入かと存じます。

私たち教職員にとりまして、卒業生と共に過ごしてきた授業や学校行事での思い出が、脳裏をよぎり、深い感慨を覚えています。

今年度は、コロナ禍、そして7月豪雨災害のため、多くの行事、イベントが例年どおりにはできませんでした。そのように制限される中でも、「人定だからできること」に積極果敢に取り組んできました。第3回となった「人定祭」。生徒会長、副会長であった卒業生2人が中心に企画・運営を担い、大成功に導きました。感染対策のためご家族限定でのご案内でしたが、予想を超える大勢の方々にお越し頂きました。生徒、職員、そしてご家族が一つになったと感じたひとときでした。

また、今年度から始めた「人定 MyRevo プロジェクト」では、地域の方々と繋がり、また他校生とも繋がりました。地域人材として活躍するためには、いかに生きていくべきかを、全学年合同で探究した活動でした。先月行われた学校運営協議会でも、委員の方々から人定の活動を高く評価して頂き、また今後の探究活動にも大きな期待を寄せて頂きました。そのプロジェクトを引っ張ってくれた卒業生2人は、後輩達にプロジェクトの深化・発展を託しながら、卒業後は自分自身の MyRevo プロジェクトを進行させていってください。きっと地域に、欠かせない人材となっていくことでしょう。

さて、これから皆さんが踏み出していく社会は、将来を見通すことが非常に難しい「予測困難」な社会です。AIが発達する中でも、コロナ禍、そして自然災害を目の当たりにして、皆さんも未来の予測が如何に困難であるかと云うことが理解できたでしょう。そのような「予測困難」であっても、皆さんは、社会の担い手として「明るい未来」を

創っていかねばなりません。その実現の一つの方法は、「多様性」を生かして、他の人と「協働」していくことではないかと考えます。

「多様性」とは、性別・人種・年齢・価値観や国籍・宗教の違いや、障がいの有無も含まれます。近年は日本でもグローバル化が進み、外国籍の方の雇用は珍しくありませんが、このように違いを受容し、どんな方でも平等に等しく生きられる権利を得られるのがダイバーシティという考え方です。また、人種や国籍など目に見えやすい違いだけではなく、価値観や宗教など、目に見えない内的な違いに関して公平であることもダイバーシティにつながります。例えば、日本で生まれ育った場合、自分にとっては日頃からあたり前と捉えている価値観が、育った国や環境、触れてきた物事の違いによっては、そうではないこともあります。それぞれの立場をよく知り、尊重することが大事になってくるでしょう。ダイバーシティとは、様々な違いを問わず「多様な人材を認め、活用すること」です。そういう意味で、皆さんが学んだ人吉高校定時制は、まさにダイバーシティでした。その中心にいたのが、あなた方だったと思います。予測困難な社会を明るい未来にする資質・能力が育まれた四年間だったと言えるでしょう。

ところで、お二人は、過去に記録がない四年間皆勤という特別皆勤賞を受賞しました。これは、心身共に健康であったからということだけでは達成できないと思います。学ぶ意欲・姿勢が四年間持続した結果、為し得た快挙だと思います。私は心からあなたたちに敬服するとともに誇りに思います。

結びになりましたが、ご家族の皆様におかれては、本校入学以来、本日まで、そのときそのときの思い出が、今、皆様の胸中をよぎっているものと拝察いたします。辛かったこともあったでしょう、涙を流したこともあったでしょう、そのような事を何もかも乗り越えて、今、立派に成長して、この日を迎えています。先ほど、卒業生の皆さんに卒業証書を授与しましたが、これは保護者、御家族の皆様にとりましても価値ある「卒業証書」です。心よりお祝いを申し上げますとともに、これまでの本校教育活動に対する御支援と御協力にあらためて深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちの時です。校歌に歌われた「気高き理想 かけつつ」「明日の世界 築かんと」、人吉高校定時制卒業生としての自信と誇りを持ち、素晴らしい未来の創り手として成長を続けていってください。皆さんの洋々たる前途に幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和3年3月2日

熊本県立人吉高等学校長 光 永 幸 生